

聖泉看護学研究 執筆要項

1. 原稿構成

- 1) 投稿原稿の構成は原則として以下の通りとする。
 - (1) 抄録：研究の「背景」, 「目的」, 「方法」, 「結果」, 「結論」に分け, 見出しをつけて記述すること (400字程度).

和文論文の場合は250words前後の英文抄録を記述すること.
 - (2) キーワード：6語以内
 - (3) 論文内容
 - I. 緒言(研究の背景・目的)
 - II. 方法(研究, 調査, 実験, 解析に関する手法の記述, および資料・材料の集め方など)
 - III. 結果 (研究等の結果・成績)
 - IV. 考察 (研究の考察・評価)
 - V. 結語：結論
 - (4) 文献：文献の記載は, 2.7) に従う.
- 2) 原稿に表紙を付し, 上半分には表題, 英文表題 (題目の先頭の文字だけを大文字表記とする), 著者名 (ローマ字も入れる), 所属機関名, 図, 表および写真等の数を書き, キーワードを日本語・英語 (小文字) をそれぞれ6語以内で記載する.

下半分には赤字で希望する原稿の種類, 別刷必要部数, 編集委員会への連絡事項および連絡者の住所氏名などを付記すること.

2. 執筆要領

- 1) 原稿は原則として, パソコンで作成する.
- 2) 原稿はA4版横書きで, 明朝体 (英数字はCentury), 11ポイント, 1頁1200字 (40字×30行) になるように作成する.
- 3) 記述上の留意事項
 - (1) 原稿は, 原則として, 新仮名づかい, 当用漢字を使用する.
 - (2) 外国語はカタカナで, 外国人や日本語訳が定着していない学術用語などは活字の原綴りで記述する.
 - (3) 数字は山陽数字を用い, 単位符号は原則としてSI単位 (kg, mg, mm, ml, kcal, °Cなど) を用いる.
 - (4) 小見出しの数字は, I., 1., 1), (1) の順に使用し, 本文中の句読点は「,」「.」(全角) を用いること.
- 4) 本文への補注を必要とする場合は, (1) (2) …の記号で該当箇所の右肩に示し, 「補注」として引用文献リストの前に一括して記載すること.
- 5) 国際的な共通語を使用し, 略語や符号などは一般的に認められている略語, 符号等に関しては, 初出時に簡単な説明を加える.
- 6) 図・表および写真は, それぞれ図1, 表1などの通し番号・タイトルを付け, 本文とは別にまとめ, 本文原稿右側外にそれぞれの挿入希望位置を記載する. 写真はモノクロで印刷される.
- 7) 倫理的配慮を要する研究の記載方法は下記に従う.

例 聖泉大学の倫理委員会の承認 (承認番号: 12345) を得ている.

8) 文献の記載方法は下記に従う.

- (1) 文献は一括して補注の後に1行あけて「文献」として和文・欧文の文献を姓のアルファベット準備リストアップする. 通巻頁を用いている雑誌では号数を省略することができる. なお, 雑誌名は省略しないこと. 出版年は西暦を用いる. 数字は半角を用いる. 各項の区切りは全角の「,」を用いる. 共著者3名以上の場合は, 3名までを記載し「, 他」とする.
- (2) 本文中の引用については, (著者名, 出版年) や (著者名, 出版年: 引用ページ) のかたちで表記する. 著者名は姓だけを記載する. 引用表記のカッコは全角の丸カッコ () を用いる. 数字は半角を用いる.

例 (山崎, 2008), (山崎, 2008: 30-35) 共著者の場合は, 邦文文献の場合は著者を「,」でつなぎ, 著者が3名以上いる場合は「ら」とする.

例 (姉崎, 米林, 1982), (宮崎ら, 1985)
- (3) 記載方法の例示
 - ①雑誌掲載論文
著者名 (発行年次): 論文表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻 (号), ハイフンをはさみ最初と最後のページを記入.

例 日本太郎, 看護花子, 研究二郎 (1998): 社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴, 日本看護研究学会雑誌, 2 (1), 32-38.
 - ②単行本
著者名 (発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名 (版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例 研究太郎 (1995): 看護基礎科学入門, 23-52, 研究学会出版, 大阪.
 - ③翻訳書
原著者名 (原書の発行年次) / 訳者名 (翻訳書の発行年次), 翻訳書の書名 (版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例 Walker, L. O., & Avant, K. C. (2005) / 中木高夫, 川崎修一 (2008), 看護における理論構築の方法, 77-79, 医学書院, 東京.
- (4) ウェブページ・ブログなどウェブサイト上に記載された情報について, 「タイトル」(「タイトル」) には, サイト全体のタイトル (ホームページのタイトル) ではなく, ウェブページのタイトルを記載する. 欧文のウェブページについては, ウェブサイトの運営機関名やその所在地が判明している場合は, それらを記載する. 和文について例を示す.

著者名, 最終更新新年, 「タイトル」, ウェブサイト名* (取得日, URL).

*ホームページのタイトルが不明な場合は省略可.

例 日本社会学会, 2009, 日本社会学会ホームページ, (2009年2月2日取得, <http://www.gakkai.ne.jp/jss>).

(2014年2月25日修正)